

なかつか 亮



住民要望 聞き取り&懇談会開催 ご意見・ご要望 お寄せください



左は品川区商店街連合会、右は品川区視覚障害者福祉協会との懇談会の様子。初当選した白石たみお都議も、共産党品川区議団と一緒に参加しました。

来年度予算編成に向けた質疑が本格化する9月議会に向け、共産党は区内で活動する各主団体と懇談会を開催し、多様な要望を伺っています。福祉・暮らし、商店の営業応援の品川区政を一緒に進めましょう。

共産党は毎年7月、8月にかけて各主団体との懇談会を開催。品川区商連は「電力料金値上げに伴う商店街装飾灯補助増額」「プレミアム商品券の継続」「防犯カメラ維持費補助」「商店街事業の繋ぎ融資資金」など。品川視障協からは「障害者雇用の促進」「同行援護拡大」「日常生活用具追加」「音響信号やエスコートゾーンの設置増設」などの要望が寄せられました。

また品川区知的障害者育成会は「通所など施設増設」「体験型グループホーム設置」「愛の手帳3・4級の医療費助成」や、建設4組合（東京南部建設技能組合・首都圏建設産業ユニオン・東京土建・東京都建設）は「公契約条例制定」「住宅耐震化促進」「住宅改善工事助成PR強化と手続き緩和」「住宅まつり支援強化」など。今後さらに品川・荏原医師会など幅広く懇談会を開く予定です。

財源は道路建設や再開発などゼネコン型予算を改めれば十分あります。今こそ区民生活を支える、くらし応援型予算に切り替えさせましょう。なかつか 亮

週刊区政報告に対するご意見、ご要望お寄せください バックナンバーはHPに掲載

フェイスブック ほぼ毎日更新中! 気軽に「友達リクエスト」の送信を

品川区でも若者歯科検診の実施を

未実施は都内で品川、世田谷、豊島など8区のみ

東京23区における歯科検診の対象年齢		自己負担
千代田区	19歳から5年ごとに80歳まで	0円
中央区	30歳から2年ごとに70歳まで	0円
港区	20歳から5年ごとに70歳まで	0円
新宿区	20歳から10年ごとに80歳まで(75歳あり)	400円(70歳以上0円)
文京区	30歳から10年ごとに70歳まで	0円
台東区	30歳から5年ごとに70歳まで	0円
墨田区	20歳から5年ごとに70歳まで	0円
江東区	20歳から5年ごとに70歳まで	0円
品川区	40歳から5年ごとに70歳まで	0円
大田区	30歳から5年ごと及び66歳から2年ごと	0円
世田谷区	40歳から5年ごとに70歳まで	0円
渋谷区	20歳から5年ごとに70歳まで	0円
中野区	35歳から毎年ごとに70歳まで	200円(区民税非課税0円)
杉並区	20歳から5年ごとに70歳まで	0円
豊島区	40歳から5年ごとに80歳まで	0円
北区	40歳から5年ごとに80歳まで	0円
荒川区	40歳から5年ごとに70歳まで	0円
板橋区	40歳から5年ごとに70歳まで	400円
練馬区	30歳から10年ごとに70歳まで	500円(区民税非課税0円)
足立区	40歳から毎年ごとに80歳まで	0円
葛飾区	40歳から5年ごとに70歳まで	0円
江戸川区	20歳から5年ごとに70歳まで	0円

備考: 検診内容に差あり
調査: 日本共産党品川区議団 6月現在

共産党は品川区議会「6月議会」にて、無料若者歯科検診の実施を区に提案しました。労働環境の悪化から「高額となる治療費の負担が厳しい」「長時間労働で休みが取れない」などの理由で歯科診療にかかれず、若者を中心に歯の健康を脅かす「口腔崩壊」とも言うべき事態が広がっています。こうした状況に、多くの自治体で無料若者歯科検診を実施し歯の健康づくりを支援。ところが品川区は未実施のままです。(上参照)

共産党の提案に品川区は「20歳代、30歳代は自己管理が基本」と無料若者歯科検診の実施を冷たく拒否しました。ひどい話です。

歯の健康づくり支援が遅れている品川区を、一日も早く正すために、引き続き頑張ります。なかつか亮



次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

9月6日(金) 午後6時～8時 場所: 日本共産党なかつか亮事務所
 弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
 連絡先 昼: 区議控室 **5742-6818** 夜: 事務所 **3773-3231**